

第 11 回 日本ユング心理学会 (JAJP) 研修会のご案内

主催：日本ユング心理学会

日時：2024年9月8日（日）12：00-16：45

会場：京都リサーチパーク（京都市下京区中堂寺南町 134） / Zoom

ご挨拶

すでにご承知の通り、当学会では、2012年4月の設立と同時に「認定心理療法士」資格の認定を開始し、以降、すでに63名の方がこの資格を取得されました。

この資格の創設は、それぞれの学会が認定する専門資格の役割が今後増すであろうという予測のもとで、ユング心理学に基づく心理療法家の育成・認定を目指すものです。またユング派分析家資格の要件のほぼ半分にあたるもので、手の届きやすい資格であると同時に、将来の分析家資格取得にもつながるものです。

2014年度より、本学会資格研修委員会では、会員の方々の参加を優先させつつ、心理臨床を実践しておられる方々にも広く門戸を開き、臨床の質を高めていくための研修機会を提供することを目的とし、第11回日本ユング心理学会研修会を企画いたしました。

内容といたしましては、本学会認定心理療法士資格をもつ講師による、理論と技法、双方の面でユング心理学の「基礎」を学ぶ分科会と、特定のテーマを設定した「事例検討」の分科会となっております。今年度も、オンラインでの聴講も選択可能といたしました。

奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

2024年8月吉日
日本ユング心理学会
資格研修委員長 河合 俊雄

<開催要領>

1. 定 員：オンサイト参加者 150名
オンライン参加者 無制限

会場に直接来場いただく「オンサイト」参加と、Zoomを使用した「オンライン」参加が選択可能な混合開催といたします。

2. 参 加 資 格：以下の条件のいずれかを満たす方

- ①日本ユング心理学会会員
- ②心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③臨床心理学を専攻する大学院生

3. 参 加 費：学会員：4,000円 非会員：7,000円 大学院生（非会員）：5,000円

4. 研 修 内 容：以下の6グループに分かれ、分科会を行います。

セッションⅠ（12：00-14：15）/セッションⅡ（14：30-16：45）

(1) セッション I (12:00-14:15)

● 〈事例検討1〉河合 俊雄 (京都こころ研究所)

【夢にみられるこころのあり方と変容】

心理療法においてクライアントに夢を報告してもらおうと、子どものころの夢などを含めて、その人のこころの基本的あり方の特徴や心理的な課題が見事に示されることが多い。それが継続的に夢を報告してもらおうと、心理的課題が解決されたり、こころのあり方が変容したりすることがしばしばある。また終結時に、何が残された課題であるのかも夢で示唆されることがある。身体症状とともに不安が生じてきて女性の夢の報告をともなった事例を元に、上記のようなポイントを検討したい。

事例発表者: 坂中尚哉 氏

● 〈事例検討2〉桑原 知子 (京都大学名誉教授・放送大学特任教授)

【「もう一人の私」としての、クライアントとセラピスト——「ふたり」が会うところ——】

心理療法において、クライアントとセラピストは、不思議な関係のなかに生きる。両者は「他者」であるとともに、まるで「もう一人の私」のように、「縁」や「同一性」でつながっているのである。そんな「ふたり」はどこで、どのように「会う」のであろうか。特に、無意識や夢(クライアントが見る夢、そして、セラピストが見る夢)などで出会い、また、主訴として語られる「症状」、身体のレベルでの「同調」、そして「語り」のなかにおいても、「ふたり」は出会い、ともに揺さぶられるように思う。本セッションにおいては、事例を基に、こうしたセラピストとクライアントとの間におこる「深い」つながりについて、考えてみたい。

事例発表者: 榎蔵美智子 氏

● 〈基礎1〉足立 正道 (足立分析プラクシス)

【来談者の語る「問題」や「症状」をどのように受けとめるのか?——還元論と目的論】

来談者の語る「問題」や「症状」の根拠を、我々は多くの場合当人の成育歴に見出そうとし、そこから「問題」「症状」を乗り越えるヒントを得ようとする。この態度をユング心理学は全否定せず、しかし同時に全く異なる視点や理解(「たましい」の現れとしての理解)を持つことを促す。この分科会ではこのパラダイムシフトの様相について講義、事例を通して考察する。

~~〈事例募集〉イメージ(夢や描画など)を含む事例を募集します。~~ ※募集終了しました

(2) セッション II (14:30-16:45)

● 〈事例検討3〉岩宮 恵子 (島根大学人間科学部)

【怒りとかなしみと創造性—夢と描画がもたらすもの—】

夢を継続的に見続けることや、絵を描き続けることができるというのは治療関係での支えの他に、その人自身もつ創造性や内的なものへの関心が大きく関係してくる。症状が重いときや、感情面での苦しみが深いときには、夢や描画が続けて報告されても治療の経過とともにその内容や報告の頻度が変化していく人も多い。そしてその方もつ創造性のテーマが、夢や描画を通じた治療経過のなかで明らかになってくることもある。

今回は、すでに亡くなっている両親に対しての強い感情をどう自分のなかに落とし込んでいけばいいのかというテーマを抱えて来談された方の夢と描画をめぐるプロセスについて、創造性という視点を加えながら検討していきたい。

事例発表者: 戸松弘美 氏

● 〈事例検討4〉 山口 素子（山口分析プラクシス）

【アニムス再考】

ユングにおいてアニマの概念は psychopomp として中心的な意味を持つ。アニマは男性の心の中の女性であり、それはユングにとって生き生きとした実在そのものの概念であると言える。一方アニムスは、男性の心にアニマが存在するのであれば、女性の心の中には男性がいるであろうという想定からおそらく導き出されたものであり、それについての言及はまことに乏しいといわざるをえない。ユングの妻エンマ・ユングはそれを補足する形で、アニムスについて記述しているが、ユングの考え方に沿うものであり、十分であるとは言えない。その後もアニムスはその否定的な側面が強調される形で語られることが多く、また時代的な変化により語られてきたアニムスイメージそのものが実感とそぐわないものとなってきている。そこで今回は、現代の女性にとってのアニムスについて再考したい。

〈事例募集〉事例の提供を募集します。女性の事例で、男性像が現れたもの（語り、夢、イメージ等を問いません）を募集します。中心的なテーマでなくてもよいので、是非ご提供ください。

● 〈基礎2〉 田中 康裕（京都大学大学院教育学研究科）

【ユングの神経症理論とその臨床的展開】

ユングの神経症理論は、フロイトやアドラーのそれと比した時、はるかに心理学的であり、はるかに臨床的に有用であるように思われる。この分科会では、ユングが「神経症」という用語を用いて、どのような「心理学的障害」を記述しようとしたのか、それによってわれわれは、そこから除外される「心的障害」、さらに「心身症」「発達障害」等をどのように理解するチャンスを与えられているのかを、現代のユング派分析家ギーゲリッヒの考えを参照しつつ、理論的、かつ実践的に論じたい。

〈事例募集〉「神経症」と思われる事例だけでなく、幅広く事例を募集します。

5. 研修ポイントについて

セッションⅠおよびⅡの両方に参加した方には、日本臨床心理士資格認定協会の「臨床心理士教育・研修規定別項」第2条第3項「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通り、ポイントが付与されます。

6. 参加・発表お申込みについて

【参加申込】

1) 参加申込フォームに必要事項をご記入ください。

当会ホームページ（<http://www.jajp-jung.info/>）および右記のQRコードのフォームよりお申し込みください。

outlook、hotmail、msn 宛でのメールがお届けできない事象が発生しております。登録するメールアドレスは、事務局のアドレスの【受信許可登録】を行っていたかどうか、上記ドメイン以外のアドレスをご使用ください。



2) 自動返信メールの内容をご確認の上、参加費をご納入ください。

24時間以内に自動返信メールが届かない場合は、日本ユング心理学会事務局 (office@jajp-jung.info) までご連絡ください。

当日参加受付はございませんので、期間内にお申し込みください。

3) 秘密保持に関する誓約書を提出してください。

参加申込後、自動的に誓約書フォームへ移動します。内容を確認のうえ、必要事項にご記入ください。参加申込時に提出できなかった場合は、自動返信メール内に記載されている URL または右記の QR コードよりアクセスし提出をお願いします。

誓約書提出フォーム



【事例発表申込】

参加申込フォームよりお申込みください。発表を希望する分科会と「事例発表を希望する」を選択いただき、事例概要などの必要事項にご記入ください。

- ・ 事例発表者は原則オンサイトでの参加となります。
- ・ 発表は Zoom を使用し、WEB カメラをオンにした状態でおこなっていただきます。
- ・ 発表に使用するパソコン等のデバイスはご持参ください。Wi-Fi 接続環境をご用意しております。(有線 LAN 接続をご用意できる場合もあります。)
- ・ オンライン参加者への資料は、事務局が Google ドライブにアップロードし、当日チャットにて参加者に URL をお知らせいたします。なお、回収資料の場合は、ダウンロード・印刷の禁止制限をかけた上で配布し、終了後は閲覧できないように削除いたします。
- ・ レジューメ (Word 等の文字資料) がある場合、画面共有のみでは画質や画面の大きさ等によって閲覧に支障がありますので、参加者に配布させていただきます。
- ・ 発表に際して使用できる映像機器は、液晶プロジェクターのみです。
- ・ PC とプロジェクターとの接続は、原則デジタル出力 (HDMI) となります。mac やタブレット PC をご使用の方は、変換アダプタもご持参ください。

* **発表申込**締め切り：2024年8月14日(水)

* **参加申込**締め切り：2024年8月28日(水)

【参加費のお振り込み】

自動返信メールの内容をご確認の上、2024年8月30日(金)までにお振り込みください。

- ・ お振り込みの際には、必ず参加者ご本人の名義でお手続きいただき、自動返信メール内に記載されている【受付番号】をお名前の前に必ずご記入の上、お振り込みください(例：00001 ユングタロウ)。
- ・ 納入された参加費は返金できませんので、予めご了承ください。
- ・ 納入期限を過ぎて参加費の納入がなかった場合、申し込みを取り消させていただく場合がありますのでご注意ください。

振込先：三井住友銀行 備後町(びんごまち)支店

普通 1795872 日本ユング心理学会

【その他、注意事項等】

- ・ 申し込みと諸費用のお振り込み、および秘密保持に関する誓約書の提出が当方で確認でき次第、参加手続きが完了となります。
- ・ お申込み受付は、原則として先着順となります。
- ・ 事例検討の分科会は、日本ユング心理学会会員を優先して受付いたします。

- ・ 会場の定員数により、ご希望の分科会にご参加いただけない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 申込者本人のみ、ご参加可能です。
- ・ 各分科会の教室、参加用リンク等については後日メールにてお知らせいたします。

◆オンサイト

- ・ 名札（参加証）、領収書等を当日受付時にお渡しします。名札は研修証明書の代わりになりますので、大切に保管してください。

◆オンライン

- ・ 研修証明書、領収書は研修会終了後にメールにて送付いたします。
証明書は、終了後に参加ログにて出席確認を行い、参加が認められた方にのみ送付いたします。
送付までにお時間を頂戴いたしますのでご了承ください。
研修会終了後 1 ヶ月を過ぎても届いていない場合は、事務局までお問い合わせください。

7. 研修会に関するお問合せ先

日本ユング心理学会（JAJP）事務局

住所：〒541-0047 大阪市中央区淡路町 4-3-6 新元社内

e-mail：office@jajp-jung.info

8. 会場案内

京都リサーチパーク 1号館

住所：〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134

京都駅より JR 嵯峨野線（山陰線）1 駅

丹波口駅下車 西へ徒歩 5 分

※その他のアクセスについては、京都リサーチパークホームページをご参照ください。

URL：https://www.krp.co.jp/access/

